



# ゴロスケ報々



## ●定点カメラで動物調査●

## 友の会行事のお知らせ

観察の森の中の散策路から一歩森の中に入ると、そこは動物たちの世界です。森の中に設置したカメラには、そんな動物たちの世界が写っています。

動物が横切ると自動的にシャッターが下りる仕組みなので、飾らない素顔が写ります。タヌキがあんな姿をしたり、ウサギがこんな姿をしたり・・・

そんな動物たちの姿を記録し、変化を調べる調査を行っています。動物の見分けがつかなくても、1回だけの参加もOKです。活動は5月～11月の毎月第2土曜日の9時半～12時。5/13(土)はカメラの設置、6/10(土)はカメラの回収、写真チェックを行います(カメラの設置、回収は友の会会員対象)。雨天の場合には日程を変更する可能性がありますので、当日自然観察センターにご確認ください。汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。着替えもできます。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

## ●3月定例会報告●

## 事務局からのお知らせ

日時 2017年1月15日(日) 13:00~15:00  
出席者 青木、大浦(議長)、落合、片岡、兼武、志釜、篠原、関根、高橋、中里、八田、村松、山口、吉田、渡部、古南 R、掛下 R

### 議題

1. 行事報告  
1月下旬から3月上旬の行事報告、活動報告を行いました。  
2月の「森を守るボランティア体験」(「カワセミファンクラブ」担当)の参加者5名。
2. 行事予定  
3月中旬から6月上旬までの行事予定の確認を行いました。
3. 各プロジェクトの活動報告と活動予定の確認を行いました。
4. ごろすけ館の利用希望の調整を行いました。
5. 事務局より
  - ・総会資料の確認を行いました。
  - ・2017年度の「森を守るボランティア体験」の担当PJを決定しました。
  - ・2017年度のゴロ報原稿の担当を決定しました。
6. 理事会の報告を行いました。
7. センターより  
「観察センターだより」のページをご覧ください。

2017年度の定例会・理事会の時間に変更になります。

次回定例会は  
5月21日(日) 9:00~  
観察センター研修室  
※定例会は会員の方どなたでも  
参加できます。

## ●3月理事会報告●

日時 2017年3月19日(日) 9:35~12:20  
出席者 青木、大浦、落合、片岡、志釜、関根、中里、中塚、村松、山口(議長)、吉田、古南 R、掛下 R(欠席:秋元、漆原)

### 議題

1. 定期総会準備
  - ・次期長期目標策定準備と友の会創立30周年(2018年度)準備
  - ①課題整理…会員向けアンケートとワークショップについて原案の方向で進めることを確認しました。
  - ②イベント…目的(一般対象とし情報発信、周辺地域の歴史・地質・森と人のかかわりを学ぶ)と2017年度準備内容(砂鉄採集に協力しながらZFC中心にたたら製鉄試行)を確認しました。関連・その他含め2018年度イベントに盛り込む内容を次回検討します。
  - ③記録誌、④絵葉書等については次回以降検討、各自提案願います。
  - ・議案書(決算・予算・役員案)及び友の会30周年引当金に一般会計からに加えて活動推進基金特別会計から2017年度準備に必要な額を計上すること、望年会で使用する臼・杵の更新の必要性を確認しました。(事業報告・計画の詳細はプロジェクトマネージャーが揃う定例会で確認)
  - ・進行(役割)、準備日程(監査・印刷)等を確認しました。
2. 安全管理について
  - ・次年度講習会(有毒植物)の6月開催を確認。
  - ・事故等報告:なし。
3. その他
  - ・利用推進会日程案(6月・3月)を確認。

### <次回理事会開催のお知らせ>

日時 5月21日(日) 11:00~12:30  
場所 自然観察センター研修室  
議題 1 理事役割分担  
2 長期目標(※)&30周年準備  
3 利用推進会議について  
4 安全管理について  
5 その他

※会員向けアンケート及びワークショップについての説明を同日の定例会で行い、会議終了後から当日午後にかけて順次ヒアリングを予定しています。  
各PJ代表者や運営委員は可能な限り参加・協力願います。

日時 2017年4月2日(日) 10:00~11:00

場所 自然観察センター研修室 出席者会員18名+レンジャー2名

議案 2016年度事業報告、決算・監査報告、2017年度事業計画、予算、理事・監事選任

定期総会が開催され、議長に高橋睦さんを選出、議案はいずれも原案どおり承認されました。2017年度も中期計画(2016-19 ごろすけ館活用等の情報発信と保全管理計画を活かす活動)の実施及び友の会設立30周年の準備にご協力のほどよろしくお願い致します。

<2016年度報告> (人数は参加延べ人数。 ※…アライグマ捕獲罟巡回活動含む)

友の会行事 26 項目・164 回 (会員741 人、一般1,185 人)

センター行事支援※ 6 項目・57 回 (会員187 人、一般 955 人)

ネットワーク活動 4 項目・7 回 (81 人)

会議等 5 項目・19 回 (190 人)

行事報告 合計 41 項目・247 回 (会員1,199 人、一般2,140 人)

PJ活動 38 項目・389 回 (2,862 人)

事務局内調査等活動 4 項目・13 回 (48 人)

事務局事務 4 項目・42 回 (106 人)

PJ活動報告 合計 46 項目・444 回 (3,016 人)

<2017 年度計画>

行事計画 40 項目・255 回 ※ (内、友の会行事(主催・共催) 177回)

PJ活動計画 48 項目・706 回

<理事・監事選任>

PJ 枠 : 秋元・大浦・落合・志釜・谷垣・中里・西山・村松

事務局枠 : 青木・漆原・関根・中塚・吉田

会員公募枠 : 山口

監事 : 大越・水上

<センターより>

レンジャー異動・挨拶がありました。

(終了後、開園 30 周年記念トークショーの上映会がありました)

## トリのナマエ

鳥でも昆虫でも、植物でも、基本的に名前はカタカナで書くことになっています。もちろん漢字の表記もありますが、常用漢字にはない難解な漢字であったり（読めますか？ 鶯、鶇）、一つの種に複数のあらかた（ホトギス＝杜鵑、杜鵑、不如帰、時鳥）があったりと、混乱を招くことになってしまいます。ただ、漢字で書いた方が特徴がよくわかることもあります。たとえばホオジロ（頬白＝ほおが白い）、カシラダカ（頭高＝警戒している時などに頭の羽を立てることから。ホオジロの仲間で、決してタカの仲間ではありません）、ツツドリ（筒鳥＝竹の筒をたたいたような鳴き声）、エナガ（柄長＝体の割に尾羽が長く、柄杓の柄に見立てて、柄が長い）などなど。

鳥の名前で多いのは、色を使った名前でしょうか。それだけ「色」は鳥の特徴を表しているものといえるでしょう。まずは白から。ハクセキレイ（白鶺鴒＝鶺鴒は背骨・背筋、鶺鴒は澄んだ冷たい水、つまり背骨がずっと伸びているの意か）、シロハラ（白腹＝文字通り白い腹）、メジロ（目白＝目のまわりが白い）、ホオジロ（頬白＝頬が白い）。次に赤です。アカハラ（赤腹＝赤い腹）、アカゲラ（赤啄木鳥＝腰が赤いキツツキ、ゲラはキツツキの総称の「ケラ」がなまったもの）。続いて青。アオゲラ（青啄木鳥・緑啄木鳥＝青い（緑）キツツキの意）、アオジ（青鶇＝鶇はシトドと読み、ホオジロ類の総称）。アオサギ（蒼鶯＝「アオ」は青ではなく蒼。蒼は「青白いさま」（蒼白）つまり青みがかかった灰色のサギ）。アオバト（青鶇＝緑色のハト）。

毎月第2日曜日に開催している「みんなでバードウォッチング」の時、参加者の方から「アオジやアオゲラは緑なのに、なぜ『アオ』なのですか？」という質問がよくあります。そうなんです「アオ・・・」と名付けられている鳥の多くは、青色でなく、緑色なんです。それにはこういうわけがあります。「古代日本語では、固有の色名としては、アカ・クロ・シロ・アオがあるのみで・・・」（広辞苑）つまりミドリも青と表現されていたようです。その例として、青菜・青葉・青田・青梅などの言葉が、今でも使われています。それでは青い鳥はというと、瑠璃が使われていることが多いようです。ルリビタキ（瑠璃鶇＝「瑠璃」とは、仏典でいう七宝の一つの宝石、その宝石の色の紫味のある青色のことを言うんだそうです）もう一種、オオルリ（大瑠璃）などがいます。その他にも黒ではクロジ（黒鶇）など。黄色ではキセキレイ（黄鶺鴒）、キビタキ（黄鶇）など。中には複数の色名が入った名前もあります。その代表格はカモの仲間のキンクロハジロ（金黒羽白）。金・黒・白となんと3色も入っています。

このようにいろいろな名前の付けかたがあります。いろいろな生きもののお名前由来を調べてみるのも、楽しそうですね。

※文章に出てくる鳥は、すべて観察の森で観察されたことのある鳥です。

※名前の由来は、いろいろな説があります。

## 定例行事の報告

### ●森を守るボランティア体験(2月) 報告●

2月19日(日) 「冬の野鳥を観察・記録しよう」

穏やかな天候に恵まれる中、親子連れを含めた一般参加者5名の参加を得て野鳥の観察、記録体験を実施しました。結果、冬鳥を含め計21種を確認し、センターへ報告できました。その後、参加者の応援も得てゴロ報の発送作業を終え、2名の新入会者も獲得できました。

担当 カワセミファンクラブ

### ●定例行事の報告「畑プロジェクト」●

3月18日(土)に16年度最後の「畑で作物を作ろう」を行いました。参加者は1名でしたが、今後入会して一緒に活動することになり、とても良い一年の締めくくりになりました。

今回の活動は、雑木や笹の伐採など畑の周囲の整備でした。今後は、腐葉土を使い作物を育てるとともに、この地域に元々生育していた実や花のなる草木を周囲に植え、美しく楽しい畑を作りたいと思っています。

引き続き「畑と作物を作ろう」は8月を除く毎月第3土曜日の10時から行います。汗をかきたい方やゆっくり自然を観察したい方は、弁当を持ってお越しください。

## 友の会活動報告

### ●森の作業体験 報告●

体験テーマ=横浜自然観察の森で「木の伐倒」体験しよう

日時：2017年2月18日(土) 9:30~14:00

参加者3家族5人、新規入会者1名 スタッフ9人

当日は、春一番の後で真冬日でしたが好天に恵まれました。趣旨説明では横浜自然観察の森、および日本の森林の大切さを知って貰うべく説明しました。また、リーダーより伐採方法や安全確保について説明のうえ、「クヌギ林」でノコギリを使用して参加者全員で樹高6m、直径20cmぐらいの木を切り倒しました。

昼食後も時間を惜しむかのように体験会用に用意したコースター作り、火起こし、竹細工作りに歓喜の声をあげていました。

アンケートには全員が普段は体験できない間伐体験ができて大満足との回答や、感想発表では次回開催時にもぜひ参加したいとの発言があり開催者としては嬉しい成果でした。

森林ボランティアを身近に感じてもらえる"きっかけづくり"として十分な役割を果たすことができましたと思います。

担当：雑木林ファンクラブ

### ●はじめてのちいさなしぜんかんさつ会 報告●

3月26日(日)、冬のような寒さと雨の中でしたが、3才~小学2年までの親子が、午前12人、午後11人集まってくれました。(スタッフ4名。参加者は、募集40人のところ、151名の申込がありました)

1本だけ満開になった気の早いヤマザクラを見た後、ツバキやキブシなど、早春に、鳥がよく蜜を吸いに来る花の蜜をなめてみて、いよいよおたまじゃくしのいる湿地へ。小さい子たちは、部屋で練習したとおり、手のひらを丸くしておたまじゃくしを手に乗せてもらい、大きな子たちは自分で捕まえてみました。自分の手に乗せてみた時の、そして、自分で捕った時の、うれしそうな顔!! その後は、あったかい部屋にもどって、今日見たものの絵を描いて、子供たちの言葉のメモと一緒に合わせて、絵本を作ってお土産にしました。ちなみに、手に乗せたおたまじゃくしの手触りは、「ぬるぬる」(そのときの気持ちも「ぬるぬる」)、「くすぐったい」「かしゃかしゃ」「ちりちり」。。

今日のおたまじゃくしは「ヤマアカガエル」。水辺と林の両方がないと生きていけません。だから、連れてかないでね。5月には小さなカエルになるから、会いに来てね!

## 友の会行事のお知らせ

### ●トンボ池を掘ろう●

昨年は久方ぶりにトンボ池が満水状態で、堀上作業がかえって生き物の繁殖の妨げになる可能性がある、と考えられたので急遽行事を中止しました。今年は状況次第ですが、繁殖場所保全の為、是非実施したいと考えています。

1. 対象 : 会員（中学生以上限定） 事前申し込み不要
2. 実施日時 : 平成29年5月7日（日） 9時10分～（少雨決行）
3. 集合場所 : センター前
4. 持ち物など : 汚れて良い服装、帽子、飲み物、軍手、可能なら長靴

担当 カワセミファンクラブ

### ●森の作業体験●

炭焼き体験会 ～炭焼き、木工を楽しもう～

5月20日（土）9：00～14：00

場所：横浜自然観察の森 炭小屋

対象：小学生以上30名（4月1日から受付申込順）小学生は保護者同伴

服装と持ち物：汚れてもいい服装（長袖長ズボン）、スニーカー・帽子・軍手  
汗ふき用タオル・昼食・飲物

雨天：前日夜間の天気予報で降水確率50%以上は中止です。

申込：5月12日（金）までに、下記のFAXかメールにてお送りください。

「炭焼き体験会参加」、参加者全員のお名前（子供さんは年齢）、  
連絡先電話かFAX番号又はメールアドレスをご記入下さい。

FAX 045-894-8892（自然観察センター） メール：kansatsunomori@gmail.com

炭焼き体験の他、木工体験（コースター作りや竹細工など）ができます。

担当：横浜自然観察の森 友の会 雑木林ファンクラブ

### ●友の会30周年記念活動に向けたワークショップ●

来年度は横浜自然観察の森・友の会の設立30周年で、それを記念した活動やイベントを企画していますが、その一つとして、これからの友の会の活動の方向性について、会員の皆さんの期待や関心をアンケートとワークショップで整理し、活動計画に反映していくことを考えています。

そのコーディネートを、この森でレンジャーとして活躍された今永さんをお願いすることになりました。ついては、今永さんからその企画の説明とプロジェクトリーダーや理事を対象としたヒアリングを予定しています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

日時：5月21日（日）詳細な時間は未定。別途定例会メールリングリストで連絡予定。

内容：理事会・定例会での企画の説明、およびその前後にヒアリング

コーディネータ：今永正文さん（一般社団法人日本環境NPOネットワーク／事務局長）

※元日本野鳥の会／横浜自然観察の森レンジャー

## 友の会行事のお知らせ

### ●安全講習「横浜の危険な植物」●

友の会の活動は樹林地や水辺など野外で行っており、知らず知らずのうちにいろいろな植物に触れることもあります。そこで今年度の安全講習は、横浜近郊で見られる危険な植物について学びます。

講師として、横浜市緑政に長く関わられ、横浜市こども植物園の園長も務められた六浦勉さんにお越しいたします。

確かな知識を身につけて、安全な活動を続けていきましょう。

各プロジェクトごとに呼びかけあって、できるだけ多くの方に受講いただけますよう、ご案内します。

日時：6月3日（土）13時～15時（予定） 雨天実施

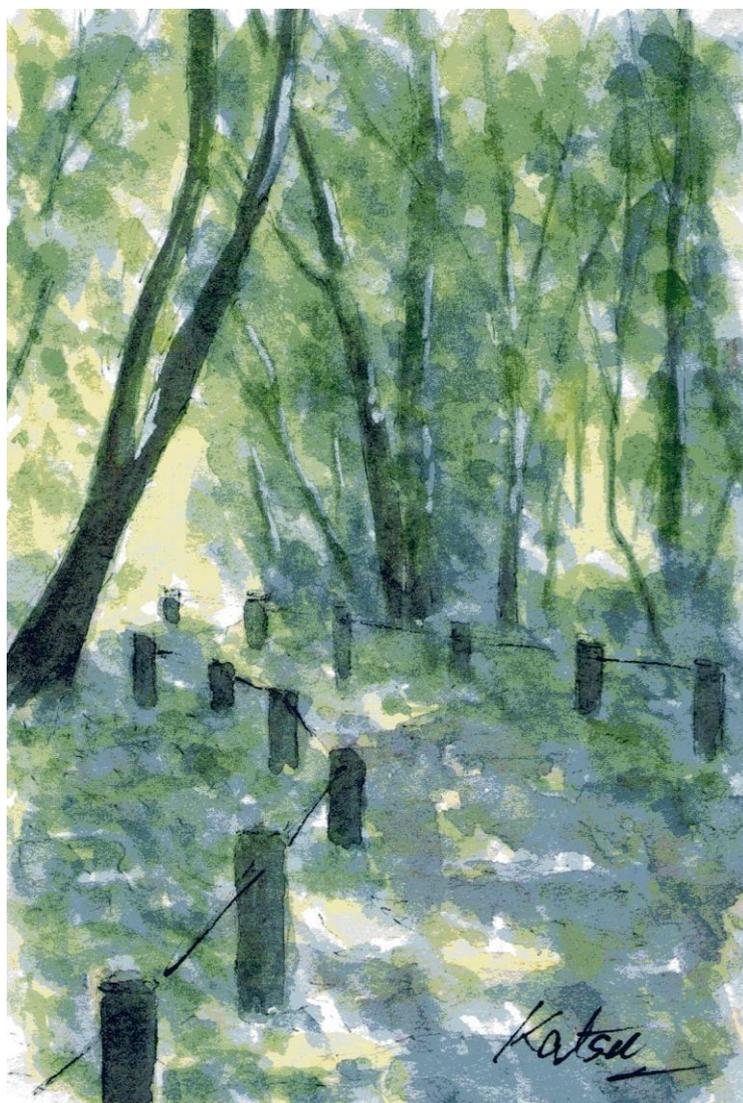
場所：観察センター研修室、野外のフィールド

講師：元こども植物園園長 六浦 勉さん

内容：横浜の樹林地等で見られる危険な植物についての座学とフィールドワーク

申込と締切：5月28日（日）までに、プロジェクトのリーダー経由または定例会メーリングリストでご連絡ください。

担当：中塚（安全管理担当理事）



# YOKOHAMA NATURE SANCTUARY NEWS 4

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2017年 4月号

☆2017年度の担当レンジャーです。よろしくお願いします☆

チーフ・全体統括・  
環境管理・環境調査担当  
**掛下 尚一郎**

事務局・畑プロジェクト・  
雑木林ファンクラブ・  
カワセミファンクラブ・  
PJ-STRIX・  
野草の調査と保護・カエル調査隊担当



新たな顔ぶれとなりますがレンジャー丸となってこの素敵な森を盛り立ててまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

環境教育・広報担当  
**尾崎理恵**



事務局  
ハンミョウの会・  
自然と遊ぶ担当

新メンバー共に 31  
年目の観察の森を盛り  
上げていきます。

環境教育副担当  
**大久保香苗**



鳥のくらし発見隊  
森の絵本づくりの会・  
定点カメラで動物調  
査・ゴロ報担当

ついに春です！み  
なさんとたくさん  
の森の発見をたの  
しみたいです。

環境管理副担当  
**黒川麻紀野**



雑木林ファンクラブ・  
野草の調査と保護担当

この森で 2 年目に  
突入しました。よろ  
しくお願いします。

はじめまして！

**奴賀 俊光** 環境調査担当・環境管理補佐  
鳥のくらし発見隊  
カワセミファンクラブ・カエル調査隊

はじめまして。「ぬかとしみつ」と申します。これまでコアジサシやシギ・チドリ類などの水辺の鳥の調査・研究等に関わってきました。横浜自然観察の森では山の鳥を勉強し直しながら、がんばっていききたいと思います。

はじめまして！

**山岸 洋樹** 環境教育・環境調査・環境管理補佐  
皆さま初めまして、山岸洋樹と申します。以前は北海道最東端の根室市でレンジャーをやっておりました。横浜の自然に早く馴染んで、皆さまとともに観察の森を楽しみながら盛り上げていきたいです。よろしくお願いいたします。

カウンターでお迎えます！

**岡 みつる & 佐々木 美雪** 来館者対応ほか

～離任のごあいさつ～

**古南 幸弘** (4月1日付で根室市春国岱原生野鳥公園に異動)

開園時の新人時代に続き2度目の横浜勤務でしたが、友の会の活動が大木のように伸び広がっているのを目の当たりにできましたし、保全管理計画の策定、開園30周年記念イベントやブックレット編集等、節目となる仕事も担当させていただき、幸せな5年間でした。皆様、ありがとうございました。



**藤村 啓** (3月31日付で退職)

約2年半前、「横浜にこんな紅葉が綺麗なところがあるんだ」と思いました。それから、皆様に自然の事、行事運営の事、観察の森をよくしていこうという心、を学ばせて頂きました。4月からは横浜市内の学童クラブで活かしたいと思います。子どもと生活をしながら自然の事を伝えたいからです。今の私の目標は最初に思ったことを観察の森で子どもたちに感じてもらう事です。今まで大変お世話になりました。ぜひ、これからもよろしくお願いします。



## 開園 30 周年を記念したブックレットが完成!

ブックレット「都市の森の自然保護 横浜自然観察の森の 30 年」を日本野鳥の会より出版しました。大都市に残された貴重な森。その中で昆虫、植物、野鳥はどのように調べ、守られたか。活発な活動を続けている友の会の運営について。発足から登録会員が 400 名以上に達した時期を経て、どう維持されてきたのか、などを盛り込んでいます。会員にはお一人一冊差し上げていますので、職員までお声掛け下さい。



## 保安全管理懇談会 (2/11)・保安全管理フォローアップの会 (3/4) 報告

保安全管理懇談会：今年度の環境管理についてふり返り、草刈時に残す植物のリスト、カシの森の希少種の保全、補修工事等についてご意見いただきました。(友の会 9 名、市役所 4 名、レンジャー 3 名)  
フォローアップの会：桜林の植生管理についてふりかえり、雑木林ファンクラブの炭小屋裏のスギ・ヒノキ間伐についてご報告いただきました。次年度の課題として、桜林のモニタリング、ピクニック広場の利用・保全の検討が挙げられました。(友の会 11 名、市 1 名、レンジャー 3 名)  
★次回フォローアップの会は 5/13 13 時～15 時に行ないます。引き続きご参加ください。

## 特定外来生物アライグマ 12 頭捕獲しました

アライグマによる生態系被害を防ぐための今季の捕獲が終了しました。11 月末から 3 月中旬までアライグマ 12 頭、同じく特定外来生物のタイワンリス 10 頭も捕獲しました。巡回やワナの設置などで友の会有志の方に延べ 38 日 43 名のご協力をいただきました。なかなか捕獲数が減らない現実がありますが、今年アカガエルの産卵数が 6 年ぶりに 300 個を超え捕獲の成果が出てきているのではないかと思います。引き続き横浜市と計画を検討しますので、今後もご協力のほどよろしくお願いいたします。

### イベントサポーター大募集! 初参加でも歓迎です。

一緒に森のイベントを盛り上げませんか? 下記行事運営ではボランティアの存在が欠かせません! 各回 2 名以上のサポーターが必要です。半日でもご参加いただけます。プロジェクトをこえて活動してみませんか。

### 森のクイズラリー

- ◆日時：4月29日(土)・30日(日)、5月2日(火)～7日(日) 10:00～15:00  
スタートとゴールの受付やポイントでのクイズ解説、参加者の案内などをお願いします。
- 集合：9時 自然観察センター研修室 ■解散：16時過ぎ

### ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場

- ◆日時：6月17日(土)、24日(土) 19:00～20:00 (雨天の場合は翌日)  
ホタルの観察マナー普及のための紙芝居の上演、上演補助や、来園者誘導などをお願いします。
  - 集合：17時半 自然観察センター研修室 ■解散：20時過ぎ
- くいずれも、レンジャー大久保までご連絡ください! E-mail: [ohkubo@wbsj.org](mailto:ohkubo@wbsj.org)



## ボランティアさん

\*\* 2/6～3/31 \*\*

## ありがとう

- 2/9 落合道夫さん 動物園へ疥癬タヌキの運搬のご協力
- 2/15 雑木林ファンクラブ 工藤国俊さん 紙芝居台の修繕
- 2/25 雑木林ファンクラブの皆さん 薪づくり サツキの伐採材の処理
- 2/25 雑木林ファンクラブ 武田冬馬さん 桜林のロープ柵設置ご協力
- 3/8 雑木林ファンクラブ 片岡章さん 展示物の作成  
雑木林ファンクラブ 鈴木昭司さん 斎藤良知さん タペストリーホルダーの作成
- 大浦晴壽さん 動物園へ疥癬タヌキの運搬のご協力
- 3/18 雑木林ファンクラブ 工藤さん 鈴木さん 紙芝居台の修繕
- 3/29 雑木林ファンクラブの皆さん ストープ用の薪づくりのご協力

行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail: [yokohama-nc@wbsj.org](mailto:yokohama-nc@wbsj.org) <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

# 行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●友の会 季節行事●

- トンプ池を掘ろう →6ページ参照  
5/7(日) 9:10～ 少雨決行  
対象：会員(中学生以上限定) 申し込み不要
- 森の作業体験 →6ページ参照  
5/20(土) 9:00～14:00  
対象：小学生以上30名(小学生は保護者同伴)  
申込：5/12までにFAXかメールにて
- 友の会30周年記念活動に向けたワークショップ →6ページ参照  
5/21(日) ※詳細な時間は未定
- 安全講習「横浜の危険な植物」 →7ページ参照  
6/3(土) 13:00～15:00 雨天実施  
申込：5/28までに中塚(安全管理担当理事)へ

## ●自然観察センター主催行事●

- 【森のクイズラリー】  
4/29(土)・30(日)、5/2(火)～5/3(日)  
※1日(月)は休館日  
受付時間：10時～15時(所要時間 60分)  
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)  
当日受付、申込不要
- 【親子でバードウォッチング】  
5/28(日) 10:00～13:30  
対象：6歳～中学生の親子30名  
申込：行事名、氏名(子の年齢)、電話番号、返信先を記入しFAX、E-mail、往復はがきで自然観察センターまで。5/15×切。  
※自然観察センターの連絡先は9ページ参照
- 【ゲンちゃん・ヘイちゃんの紙芝居劇場】  
6/10(土)・6/17(土)・6/24(土)  
19:00～20:00  
申し込み不要  
どなたでも参加可(小学生以下は保護者同伴)

## ●共催 定例行事●

- ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜  
～友の会の活動内容紹介とルールを～  
6/18(日) 9:30～14:00 雨天催行  
受付：直接、自然観察センターの研修室へ  
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴  
\*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

発行日 2017年4月16日  
発行 横浜自然観察の森友の会  
F A X 045-894-8892  
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

## ●友の会 定例行事●

- 季節の森を歩こう(園内の自然案内)  
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～  
5/7(日)・6/4(日)  
1回目 11:00～ 2回目 13:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：どなたでも  
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜
- 定点カメラで動物調査 →1ページ参照  
5/13(土)、6/10(土)  
9:30～12:00  
※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。  
対象：友の会会員向け  
持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参  
集合：ゴロスケ館集合  
活動日：5月～11月の毎月第2土曜日
- みんなでバードウォッチング(野鳥観察)  
～のんびり楽しむバードウォッチング～  
5/14(日)・6/11(日)  
9:00～13:00 少雨決行  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜
- 森の絵本を楽しもう  
～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～  
5/17(水)・6/21(水)  
10:30～12:00 絵本作製  
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも  
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜
- 畑と作物をつくろう  
～生き物にあふれた畑を目指して～  
5/20(土)・6/17(土)  
10:00～12:00 雨天中止  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日
- 自然と遊ぼう(園内の自然案内)  
～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～  
5/27(土)・6/24(土)  
1回目 13:00～ 2回目 14:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：子どもから大人までどなたでも  
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜